

子どもたちと地域の未来を考える 花と緑のまちづくりの推進

～自治体連携で日本の魅力ある都市創りを進める～

亀岡市長 桂川 孝裕



プロフィール

昭和38年2月10日生まれ 岐阜県出身

昭和60年3月 東京農業大学農学部
(現 地域環境科学部) 造園学科卒業

昭和60年4月～ 京都府立農芸高等学校教員

昭和62年4月～ 亀岡市役所職員

平成15年2月～ 亀岡市議会議員 (1期)

平成19年5月～ 京都府議会議員 (2期)

平成27年11月～ 第7代亀岡市長 (現在2期目)

令和元年11月～ 環境省中央環境審議会専門委員

// 全国市長会環境対策特別委員会副委員長

// 子どもたちと地域の未来を考える花と緑のまちづくり
全国首長会事務局長

令和2年 4月～ 京都府市長会副会長

令和3年 4月～ 東京農業大学客員教授



亀岡市の概要

京都市のベッドタウン

- ・京都市のベッドタウンとして発達してきた「**トカイナカ**」
(2021年4月時点で人口87,741人、京都府内3位の人口規模)
- ・11月から3月の朝方に、盆地上の市域全体を包み込む濃霧が発生



風景を織りなす農業

〈市内農業の特徴〉

- ・**京野菜生産日本一位**
- ・オーガニックやスマート農業にも注力
- ・亀岡産キヌヒカリは、**3年連続特A獲得**
- ・古来より大嘗祭の奉祝田を務めてきた「京都市の穀倉地」



京都観光＋亀岡観光

- ・京都市に隣接した立地を活かし、観光客数は年間300万人超（2019年度）
- ・トロッコ、保津川下り、湯の花温泉など自然景観や保養を楽しむ観光が中心
- ・新たな集客拠点として、京都スタジアムが2020年1月にJR亀岡駅前が開業



自然環境の豊かさ

- ・天然記念物アユモドキが「市の魚」
- ・棲息場所を保全するため、京都スタジアムの立地予定地を変更（2015年）



■花と緑のまちづくり全国首長会

花と緑のまちづくりに積極的に取り組んでいる首長達が、自然環境を大切に守り育て、子どもたちの心身の健やかな成長と持続可能な地域社会の未来のため、花と緑の豊かな環境を次代へ引き継ぐとともに、互いに連携・情報交換等を行い、花と緑にあふれる豊かで魅力的な地域と快適な都市空間の形成、地域社会の活性化などを通して、持続可能な社会を実現する輪を全国に展開する。



令和元年11月14日 設立総会の様子

■ 役員体制

- 会長 盛岡市長
- 副会長 見附市長
- 副会長 鴻巣市長
- 副会長 熊本市長
- 事務局長 亀岡市長

⇒ 令和3年10月25日現在 全国 **112市区町村** が加入

■ 主な活動

● 民間団体との連携・協力要請

「花と緑のまちづくり全国首長会支援団体連絡協議会」

【会員団体】 (18 団体加入、会員数約 10,000 名)

(公財)日本花の会、JAG、フラワートライアルジャパン実行委員会

(一社)日本インドア・グリーン協会、(一社)日本花き卸売市場協会、

(一財)日本花普及センター、(一社)日本造園組合連合会、屋内緑化推進協議会

特定非営利活動法人屋上開発研究会、(一社)地域緑花技術普及協会

都市のみどり研究会、(公財)都市緑化機構、NPO法人ガーデンを考える会

一般社団法人日本ガーデンセラピー協会、(一社)日本ハンギングバスケット協会

(一社)ソーシャルグリーンデザイン協会、ヒートアイランド学会

(公財)日本エクステリア建設業協会

■ 主な活動

● 国への要望

国の関係省庁に対し、緑花の推進や新たな補助制度の創設を要望

- ・令和2年度 11月10日 国土交通省、財務省へ
- ・令和3年度 11月17日 国土交通省、農林水産省へ
(会長、副会長、事務局長の三役で要望活動)

● 国会議員への応援呼びかけ

首長会の活動が広く認知され、大きなうねりとなって国の施策等への反映を目指す（現在28名が賛同し本会応援国会議員に就任）

● 首長会ニュース

各首長の思い、管内のおすすめスポット、イベント情報を中心に情報提供をいただき、紙面で紹介

■今後の活動

●総会の開催

令和4年度 総会を来年5月に熊本市で開催予定
(第38回 全国都市緑化くまもとフェア開催地)

- ・基調講演 東京都市大学特別教授・造園家 涌井 雅之 先生
(当会顧問、TBSテレビ「サンデーモーニング」出演)

●研修会の開催

令和4年度 研修会を来年7月に北海道恵庭市で開催予定
(第39回 全国都市緑化北海道フェア開催地)

- ・基調講演 福井県立大学 学長 進士 五十八 先生
(当会顧問、日本造園学会長、日本都市計画学会長、日本生活学会長等歴任)

亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想



亀岡まるごと

ガーデン・ミュージアム構想

亀岡市の地域資源



雲海



アユモドキ



牛松山



保津川下りとトロッコ列車

亀岡市の地域資源



亀岡祭の山鉾



城下町に残る町家



出雲風流花踊り

亀岡市の地域資源



南郷公園の桜並木



オープンガーデンかめおか



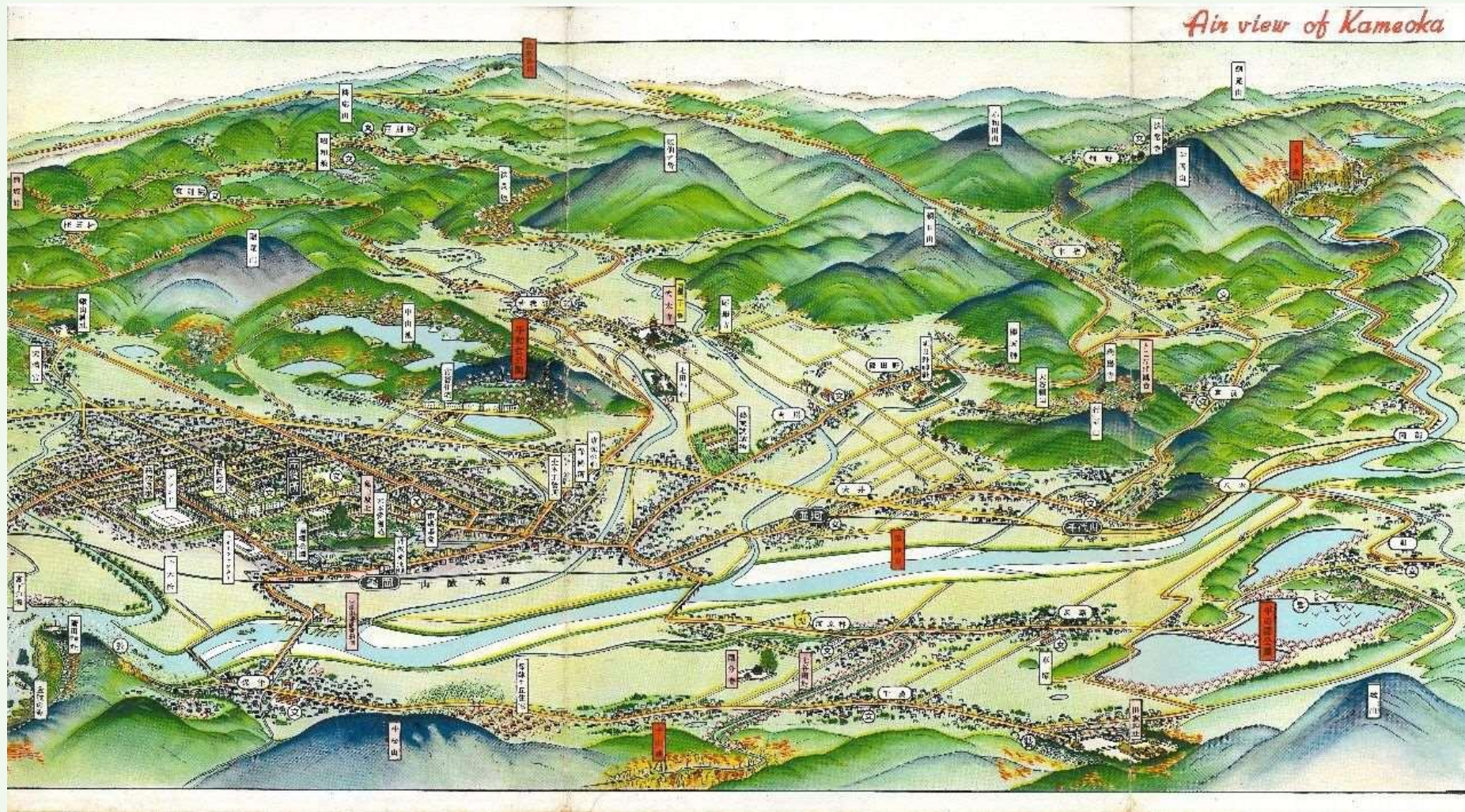
亀岡の名木 国分寺のイチヨウ



水田とヒガンバナ

亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想のテーマ

小盆地宇宙で織りなす、豊かな自然と文化のつながりづくり



亀岡ICウェルカムガーデン



亀岡ICウェルカムガーデン



市役所西別館ウェルカムガーデン



市役所前スポットガーデン



河原町スポットガーデン



JR 亀岡駅ハンギングバスケット



篠ICウェルカムロード



かめおか霧のテラス



亀岡さくらまつり



ガレリアかめおか花飾り



花と緑のフェスティバル

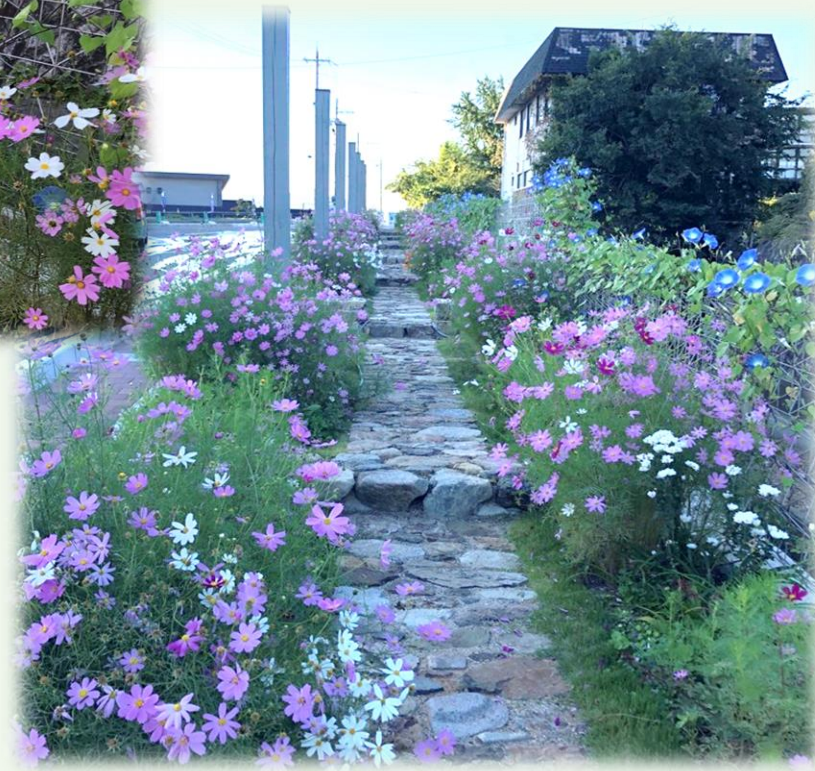


かめきたサンガ広場 (2020年3月完成)



亀岡いきいきガーデン（農家の庭に学ぶ「持続可能な都市ガーデン」）

（公財）都市緑化機構主催 **「緑の環境プラン大賞（第31回緑化大賞）」** 受賞



祝 亀岡いきいきガーデン整備事業除幕式

10月19日 除幕式

かめおか霧の芸術祭 × X

～持続可能性を生み出すイノベーションハブ～



2020年
内閣府が選定

☆ SDGs未来都市

☆ 自治体SDGsモデル事業



かめおか霧の芸術祭

地域経済循環率が低い

日帰り客の消費が低迷

生産年齢人口が減少

耕作放棄地率が増加

プラスチックが問題化

地方創生☆政策アイデアコンテスト2019 最優秀賞

かめおか霧の芸術祭

経済

- アートマーケット
- まちなかプロジェクト
- KAMEOKA FLY BAG Project
- Harvest Journey Kameoka

地場産品や体験を市内外の客に販売するマーケット/導線の育成

社会

- やおやおや
- ダーチャ
- 地域ブランド農産物認定制度
- 知の共有

KIRI WISDOM
KIRI² 芸術大学
小学校教育プロジェクト

交流の接点づくりとブランド化による新陳代謝のある農業コミュニティの実現

環境

- プラごみゼロ具体化事業
 - マイボトル普及施策
 - レジ袋禁止条例の施行
 - ポイ捨て抑止と清掃活動
- ロゴマークを活用した情報発信
- シンポジウム

市民一人ひとりに伝わるプラごみゼロ施策の実行と発信

消費や投資の呼び込み

体験型観光の定着

イノベーションの創発

コミュニティの新陳代謝

環境先進都市の実現

市民が社会的につながり商業・投資・イノベーションが活発な都市

農業や自然とともに暮らす都市

ごみを極力出さない社会

開かれたアトリエ

亀岡市役所地下1階に『開かれたアトリエ』オープン(2021年4月14日)

京都芸術大学と協働し、地下レストランを分野横断的に人々が交流できる多機能空間にリニューアル

- ▶年に数回テーマを変えながらの展覧会や、KIRI²芸術大学等のワークショップ、オンライン配信、亀岡産野菜の販売なども順次実施
- ▶図書コーナー、フリーWi-Fi完備
- ▶レストランはカフェとしてリニューアルし、亀岡牛や亀岡産野菜を使った多彩なメニューを提供
- ▶テイクアウト用カップにはサトウキビを使った素材を使用するなど、環境にも配慮



- ・飲食しない人も自由に利用可能
- ・利用料 無料
- ・時間 9:00~17:00
- ・土日祝も利用可(年末年始を除く)
- ・カフェは平日のみ営業

環境を軸とした「ブランドカ」の向上と「シビックプライド」の醸成

